

アート & カルチャーでねりまをもっと楽しく

# NERICUL

(公財)練馬区文化振興協会情報誌 [ねりかる]

2017 autumn



特集：石神井公園ふるさと文化館 特別展

「描かれた練馬 — 変わる風景・変わらない風景 — 」

石神井公園ふるさと文化館 × 練馬区立美術館 座談会

## 石神井公園ふるさと文化館特別展

# 「描かれた練馬」— 変わる風景・変わらない風景 —

石神井公園ふるさと文化館 × 練馬区立美術館 座談会

9月16日から石神井公園ふるさと文化館で開催中の特別展では、練馬区立美術館所蔵の作品など、数多くの絵画を展示し、江戸時代から近現代にかけて移り変わる練馬の様子を紹介します。今号の「ねりかる」では、両施設の学芸員が練馬を描いた作品や画家について語ります。



## 「描かれた練馬」とは

**相川 (ふるさと文化館)** 以前より、「絵画」を扱った「描かれた練馬」というテーマで展覧会ができないかと検討を重ね、練馬区独立70周年の今年、実現することができました。

今年の6月から8月にかけて開催した企画展「独立70周年—練馬区誕生への軌跡」では、東京都公文書館と当館所蔵の「文書(もんじょ)」、つまり文字資料を扱って練馬の歩みを辿っていきました。一方、この特別展「描かれた練馬」では、「絵画」を中心に扱い、江戸時代から近現代にかけて、練馬のこういった場所が描かれてきたのかを追いたいと考え、準備してきました。



「武蔵野古物」江戸中期 (東京都公文書館蔵)

**眞子 (練馬区立美術館)** 展示資料として「絵画」を選んだのはどうしてですか？

**相川** 時代背景を踏まえて作品を捉えることで、同じ資料でも美術館と違う、博物館らしいアプローチができると思ったからです。ふるさと文化館では、文字資料やくらしの道具、写真などの資料を扱う展覧会が多いのですが、「絵画」を中心とした展覧会は初の試みです。

**奥野 (ふるさと文化館)** 練馬区は、石神井など風景が変わっていない所があるのいいところ。今も素晴らしい風景が残っていて、絵を描く場としてずっと続いています。それがタイトルの「変わらない風景」で伝えた点です。

**加藤 (練馬区立美術館)** 展示するもので一番古い「絵画」は何ですか？

**相川** 明治から昭和にかけて活躍した絵師・高橋松亭の「石神井之林」が一番古い作品です。明治42年から大正5年の間に描かれたものです。

展示資料で一番古い資料は、地誌の「武蔵野古物」です。江戸中期、1780年ぐらいのものと考えられています。

**眞子** 時代によって描かれる場所の変化はありますか？

**相川** 三宝寺池は、江戸時代には江戸近郊の名所として描かれ、その後も現代に至るまで描かれています。武蔵野鉄道(現・西武池袋線)開通後は新しくできたもの、例えば豊島園が出てきます。戦後になると、谷原のガスタンクや、千川上水が暗渠\*化してからの千川通りなど新しい風景が描かれていきます。

\*暗渠(あんきょ)…地下に埋設したり、ふたをかけたたりした水路

展覧会  
情報

練馬区独立70周年記念展 石神井公園ふるさと文化館特別展

「描かれた練馬 — 変わる風景・変わらない風景 —

会 期：平成29年9月16日(土)～11月5日(日) 9:00～18:00 月曜休館

(※ただし9月18日(月・祝)・10月9日(月・祝)は開館し、9月19日(火)・10月10日(火)は休館)

観覧料：一般300円、高校・大学生200円、65～74歳150円、75歳以上・中学生以下無料(その他各種割引有)



700円にて販売中

## 練馬を描いた画家たち

**相川** 今回展示する画家の居住地について見ていくと、東京近郊や区内に近い人が多かったですね。例えば、吉田博は、下落合にいた時に石神井などを描いています。豊島区長崎や中野区江古田に住んで、石神井を描いた画家もいます。

**加藤** 美術館から貸出する作品の画家だと、「池畔新緑」を描いた中村善策は区内に住んでいたため結構練馬を描いていますね。故郷の小樽や疎開先の信州を描いた風景画は、遠くに山々をドンと配し、広大な景色を描いています。石神井公園のような身近な風景を描くときにも、水や木々、自然を彩り豊かに描いてゆく技法は変わりません。

**眞子** 今回展示される「練馬風景」を描いた中村忠二も練馬区向山に住んでいましたね。詩人でもあり、墨絵や「モノタイプ」という一枚しか刷り上らない版画作品を多く残した作家です。来年当館でも小展示を行います。

**加藤** 茨木杉風も近くに住んでいた人ですね。杉風は郷里の琵琶湖畔の風景、後年の東京都市部と武蔵野の様子などを得意とした水墨画で描いています。

竹原嘲風は知る人ぞ知る日本画家。練馬周辺はもとより、山村の自然の風景を描いた作家で、花木や鳥などを描いた精緻な写生画には目を見張るものがあります。

**眞子** こうして考えると、画家たちが東京近郊の風景、武蔵野の風景を描きたいと思ったときに、身近な、手頃な写生の場所だったのかもしれないですね。

**眞子** 今回の展覧会にはどのくらい作品が出るのですか？

**相川** 美術館から借用する作品を含めて約50点の資料を展示します。

**奥野** 江戸時代から戦後までの、描かれた練馬の風景をこれだけ集めた展覧会は、初めてではないかと思います。今回、武蔵野の風景をライフワークとして描いてきた画家、恵俊彦氏の作品も多数展示します。

**相川** 本展では、年代順に作品を紹介していきます。各資料を、時代背景を踏まえて見ていくことで、当時、練馬という地域がどのようなイメージであったのか、知る手がかりになるとと思います。書籍や展覧会などで広く知られる川瀬巴水や、昨年から本年にかけて生誕140年の回顧展が行われた吉田博など、今話題の画家の作品も展示します。会期中、展示替えもありますので、ぜひお越しいただければと思います。



吉田博「石神井」昭和12年（個人蔵） ©2017 吉田博トラスト



中村善策「池畔新緑」昭和53年（練馬区立美術館蔵）



中村忠二「練馬風景」昭和35年（練馬区立美術館蔵）

（平成29年8月9日練馬区立美術館にて）

### 講演会「浮世絵ルネサンス=新版画」

講師：渡邊章一郎（株式会社渡邊木版美術画舗 代表取締役）

10月21日（土）14:00～16:00 / 1階多目的会議室 / 参加費 無料 / 定員 100名（抽選）  
／申込往復はがきによる事前申込①講演会名 ②氏名（ふりがな、1名まで）③住所 ④電話番号を記入の上、ふるさと文化館へ郵送（10月6日（金）必着）

関連  
イベント

### 展示解説会

9月27日（水）、10月11日（水）、10月29日（日）  
各回14:00から45分程度 / 2階企画展示室 /  
無料※当日の観覧券が必要 /  
事前申込 不要

関連  
イベント

10月	10月15日(日) 14:00～15:00 練馬文化センター 大ホール <b>ノージーのひらめき工房ショー in 練馬</b>	全席指定 2,500円 小学生以下 1,000円
	10月27日(金) 18:30～21:30 練馬文化センター 大ホール <b>ハンガリー国立歌劇場「こうもり」</b>	全席指定 S席 14,000円 A席 11,000円 (B席は完売)
11月	11月3日(金・祝) 16:00～18:30 練馬文化センター 大ホール <b>日野皓正クインテット2017</b>	全席指定 S席 5,000円 A席 4,500円 ※学生券あり
	11月16日(木) 18:30～20:30 練馬文化センター 小ホール <b>第139回練馬区民寄席～小三治・一朝～</b>	予定枚数終了
	11月19日(日) ①13:00～14:00 ②18:00～19:00 練馬文化センター 小ホール 練馬区演奏家協会10周年コンサート ①音楽グループ《なでしこ》歌声と口笛は風に乗って ②東京アートノームプラスクインテット ジョイフルコンサート	各公演全席自由1,000円
	11月23日(木・祝) ①15:00～17:00 ②19:00～21:00 練馬文化センター 小ホール <b>東京、練馬でジェントルなLive</b>	完売御礼
	11月26日(日) 14:00～16:00 練馬文化センター 大ホール <b>練馬交響楽団 第66回定期演奏会</b>	全席自由1,000円
	11月30日(木) 14:00～16:00 練馬文化センター 大ホール <b>フォレスタコンサート in 練馬</b>	全席指定 5,500円
12月	12月2日(土) 表彰式15:25 16:00～18:00 練馬文化センター 小ホール <b>第32回練馬区新人演奏会</b>	全席自由1,000円 学生券 500円
	12月3日(日) 14:00～16:00 大泉学園ゆめりあホール <b>練馬交響楽団アンサンブルVol.16 ～室内楽の楽しみ～</b>	全席指定 700円
	12月6日(水) 19:00～21:00 練馬文化センター 小ホール <b>笑った分だけ、怖くなる vol.2</b>	全席指定 5,000円
	12月9日(土) ①13:30～14:10 ②16:00～17:00 大泉学園ゆめりあホール <b>第52回ワンコイン・コンサート フルードデュオとピアノの華麗なる饗宴</b>	①全席指定 500円※2歳以下ひざ上無料 ②全席自由 500円※未就学児入場不可 10/5(木) 12:00～インターネット予約受付開始
	12月9日(土) 19:00～20:30 練馬文化センター 大ホール <b>よしもと歳末大笑いまつりin 練馬2017</b>	全席指定 3,500円(当日4,000円) 10/7(土) 10:00～予約受付開始
	12月10日(日) 14:00～15:50 ゆめりあホール <b>山崎バニラの活弁大絵巻 in ゆめりあ</b>	全席指定 一般 2,000円 4歳～小学生 1,000円
12月17日(日) 14:00～16:00 練馬文化センター 大ホール <b>Nerima ユニバーサルオーケストラ コンサート</b>	無料(要申込) 詳しくはホームページをご覧ください	

毎月第3水曜日 12:15～12:45 練馬区役所1階アトリウム

**アトリウムミニステージ**

無料 ※都合により中止になる場合があります

10月	10月7日(土) 11:00～11:30 美術の森緑地(練馬区貫井1-36) <b>まちなかコンサートVol.19 in 美術の森緑地</b>	無料 ※雨天の場合は中止
	10月25日(水) 14:00～14:40 立野地区区民館びよびよ(練馬区立野町15-42) <b>親子で楽しむミュージックキャラバン</b>	無料 ※0歳～3歳とその保護者 40組80名程度
11月	11月11日(土) ①13:00～13:45 ②14:15～15:00 練馬駅北口周辺 <b>まちなかコンサートVol.20 in 練馬</b>	無料 ※雨天の場合は中止

その他  
会場  
Other

チケット  
購入方法

【電話】03-3948-9000

10:00～17:00/練馬文化センター予約受付専用  
※チケットは、窓口や郵便振込でお引換えができます。

【窓口】●練馬文化センター1階チケットカウンター

●大泉学園ゆめりあホール5階事務室受付

10:00～20:00/※予約受付開始日の翌日午前10時から、

窓口で購入およびお引換えができます。

※12月28日(木)～平成30年1月3日(水) 練馬文化センター 休館

12月29日(金)～平成30年1月3日(水) 大泉学園ゆめりあホール 休館

【インターネット】<https://www.neribun.or.jp>

事前に利用登録が必要です。(無料)

①協会ホームページの「インターネットチケット販売」ボタンをクリック。

②「利用登録」から必要事項を入力してください。

●予約方法 登録したメールアドレス、パスワードで

「ログイン」するとチケット予約が行えます。

※チケットは、セブン・イレブンや郵送などで受取れます。



練馬区独立70周年記念展

特別展「描かれた練馬  
—変わる風景・変わらない風景—」

9月16日(土)～11月5日(日)

時間 9:00～18:00

休館日 月曜日※

観覧料 一般300円、

その他各種割引あり

「没後20年 麻田浩展—静謐なる楽園の廃墟—」(練馬区立美術館)のチケット提示により100円引きになります。

写真左/藤森静雄(大東京十二景の内 八月 豊島園の夏(板橋区))(大田区立郷土博物館)  
写真右/川瀬巴水(三宝寺池(石神井))(大田区立郷土博物館)

裏面 特集ページも併せてご覧ください

特別展「見て、触れて、撮って楽しむ  
—トリックアートの世界—」

12月9日(土)～30年1月21日(日)

人間の錯覚を利用することで「立体に見える絵画」や「見る角度によって印象が変化する作品」など平面のものを立体に描き表す不思議で楽しめるトリックアート。本展では、「江戸時代の情景」をモチーフにした作品や「和の伝統文化と娯楽」の作品などを展示します。

時間 9:00～18:00

休館日 月曜日※

観覧料 一般300円、

その他各種割引あり



トリックアート展 桶泥棒

ココが  
おすすめ!

他では見られない当館オリジナルの作品を展示します!

## ワークショップ「ふしぎな絵をつくってみよう!」

12月24日(日) 13:00～16:00 /

ふるさと文化館多目的会議室/参加費無料/

定員100名(先着順)/事前申込不要

関連  
イベント

ふるさと文化館 分室

## 企画展 「作家の手紙」

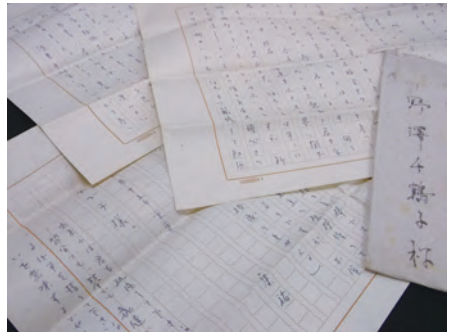
10月21日(土)～平成30年2月3日(土)

分室の収蔵品の中には、作家の手紙が多く遺されています。本展では、作家・五味康祐(1921～1980年)が恋人(のちの妻)へ宛てた手紙や、画家・野見山暁治(1920年～)が12年間の渡仏中に、義弟の作家・田中小実昌(1925～2000年)へ宛てた手紙をご紹介します。

時間 9:00～18:00

休室日 月曜日※

観覧料 無料



五味康祐書簡(野澤千鶴子あて)1948年 部分

ココがおすすめ!

いずれも20～30代に書かれた、若き頃の溢れる手紙です。

## 講座「初めての絵手紙でおたよりを」

講師：田代修子(日本絵手紙協会公認講師)

12月9日(土) 14:00～16:00 / 石神井松の風文化公園管理棟2階多目的室 / 費用100円 / 対象 中学生以上 / 持ち物 描きたいもの(野菜、果物など)、毛氈(下敷、ある方のみ) / 定員30名(抽選) / 往復はがきまたはメールによる事前申し込み。①イベント名 ②氏名(2名まで)、ふりがな ③住所 ④電話番号 / 締切 11月21日(火)必着

関連  
イベント

## 講演会「12年間のパリ暮らしとコミちゃんの思い出」

講師：野見山暁治(画家)

平成30年1月13日(土) 14:00～15:30 / 石神井松の風文化公園管理棟2階多目的室 / 参加費無料 / 対象 中学生以上 / 定員100名(抽選) / 申込 往復ハガキまたはメールによる事前申し込み。①イベント名 ②氏名(2名まで)、ふりがな ③住所 ④電話番号 / 締切12月21日(木)必着

関連  
イベント

## ●申込先

〒177-0045 練馬区石神井台1-33-44

石神井公園ふるさと文化館分室

event-bunshitsu@neribun.or.jp

練馬区独立70周年記念展 **没後20年 麻田浩展** — 静謐なる楽園の廃墟 —  
 9月28日(木)～11月19日(日)

麻田浩(1931～97)は水滴や羽根などの自然物を配した「原風景」とともに、「原都市」と名づけられた美しき廃墟空間を描き続けた画家です。初期から晩年までの約140点を紹介します。

時 間 10:00～18:00

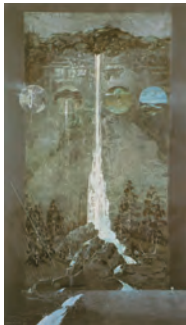
休館日 月曜日※

観覧料 一般800円、高校・大学生および65～74歳600円、中学生以下および75歳以上無料、その他各種割引制度あり

(一般以外の方は年齢等の確認できるものをお持ちください。)

「描かれた練馬—変わる風景—変わらない風景—」(石神井公園ふるさと文化館)のチケット提示により100円引きとなります。

共催：日本経済新聞社



《御滝図(兄に)》1990年 油彩・キャンバス  
 東京オペラシティ アートギャラリー蔵



《庵(ラ・タンタシオン)》1991-93年 油彩、キャンバス 京都国立近代美術館蔵

**ココがおすすめ!**

麻田の絵画には様々なモチーフが描かれています。じっと眺めるとおもしろい発見があるかも。

**ギャラリートーク**

ゲスト：佐藤泰生 [画家]

10月7日(土) 15:00～/展示室/

参加費 無料※当日の観覧券が必要/申込不要

関連  
イベント

**ギャラリートーク**

ゲスト：麻田 弦 [麻田浩長男]

11月4日(土) 15:00～/展示室/

参加費 無料※当日の観覧券が必要/申込不要

関連  
イベント

**小野木学 絵本原画展**

— ぼくの中のコドモ —

11月26日(日)～2月11日(日)

練馬区ゆかりの画家、小野木学(1924～1976)の展覧会です。創作絵本『かたあしだちょうのエルフ』をはじめ、当館が所蔵する挿絵や絵本原画を中心に展示します。

時 間 10:00～18:00

休館日 月曜日※

観覧料 無料

助成：公益財団法人 花王芸術・科学財団



『さよならチフロ』(こぐま社、1969年)

## 「森と劇場のサーカスフェスタ」 「思い出づくりは映画から」

《練馬文化センター》平成29年7月22日(土)・29日(土)

### 練馬文化センターで体験！ ワークショップレポート

今回は練馬文化センターで開催されたワークショップのうち二つに参加しました。

一つ目は「森と劇場のサーカスフェスタ」で開催された、SWZ connect による車椅子ダンスのワークショップ。リオパラリンピック閉会式にも出演された車椅子ダンサーのかんばらけんたさんらと一緒に、子どもも大人も障害のある方もダンスに挑戦しました。

参加者は、はじめは緊張した面持ちでしたが、実際に車椅子に乗って、笑顔のかんばらさんと一緒に

練馬区文化振興協会では、練馬区内で様々なイベントを開催しています。今回は7/22～8/5に開催した、ねりま文化ウィークからレポートをお伝えします。



動くうちにダンスの楽しさが全員に広がっていきます。最後に行ったグループ発表では全員の息がぴったり。車椅子ダンスの魅力を感じてできるワークショップでした。二つ目は映画ワークショップ「思い出づくりは映画から」。名画の予告編やポスターを多く保存しているNPO法人「古き良き文化を継承する会」代表 根本隆一郎さんが「駅馬車」「ローマの休日」等なつかしい名作の予告編を紹介しました。洋画全盛期の興味深いお話や、映画や映画音楽には、観た頃の記憶を蘇らせる力があること等、楽しいお話をたくさん伺うことができました。

### 真夏の練馬に響いた ホールを震わせる大合唱

晴天に恵まれた8月5日、練馬区独立70周年記念コンサート「真夏の第九」が行なわれました。

第一部は日本大学芸術学部ブラサンサンブルのファンファーレからスタート。練馬の自然を讃える力強い演奏のあと、練馬児童合唱団の美しい歌声が続きます。

そして第二部、いよいよ第九の合唱が始まります。初心者から経験者まで1000人を超える合唱団員が練馬文化センターの大ホールに集結。客席も舞台上も人で満

杯です。指揮者の曽我大介さんは体を斜めに向け、オーケストラと合唱団全員に指揮棒を振ります。大地から歌声が湧き上がっていくような素晴らしい響きはまさに歓喜の歌。5か月に及ぶ練習の成果が発揮されました。小ホールでスクリーンを通して鑑賞していたお客さん達からも自然と拍手が湧き上がる程の大成功でした。

合唱後の解散式で曽我さんは「合唱とは声だけではなく、心を合わせること」とおっしゃっていましたが、まさに独立70周年に多くの区民の心が一つになった大合唱でした。

### 練馬区独立70周年記念コンサート

#### 真夏の第九

《練馬文化センター》平成29年8月5日(土)



一階から鑑賞してはいたんですが、合唱の始めの声の大きさにびっくり。鳥肌が立ちました。

親子で一緒に歌えていい思い出になりました。



感無量。すごく楽しかった。終わったと思うと寂しいです。大阪から引越してきましたが、練馬に住んでよかったです！

☎ 03-5372-2572

【住所】練馬区石神井台1-33-44 石神井公園の風文化公園管理棟内  
(西武池袋線「石神井公園」駅下車、徒歩15分)

【FAX】050-3352-2983

【開室時間】9:00~18:00

【休室日】月曜(祝休日の場合は翌平日)、年末年始、臨時休室日

【料金】観覧無料

☎ 03-3993-3311

【住所】練馬区練馬1-17-37

(西武池袋線・西武有楽町線・都営大江戸線  
「練馬」駅下車、徒歩1分)

【FAX】03-3991-9666

【休館日】年末年始

(保守点検日は、一部施設のご利用ができません)



☎ 03-5947-2351

【住所】練馬区東大泉1-29-1  
(西武池袋線「大泉学園」駅  
下車、徒歩1分)

【FAX】03-5905-2021

【休館日】年末年始

(保守点検日は、一部施設の  
ご利用ができません)

☎ 03-3996-4060

【住所】練馬区石神井町5-12-16  
(西武池袋線「石神井公園」駅下車、  
徒歩15分)

【FAX】03-3996-4061

【開館時間】9:00~18:00  
(会議室の利用は、21:30まで)

【休館日】月曜(祝休日の場合は翌平日)、  
年末年始、臨時休館日

【料金】常設展示は観覧無料(特別展は有料)

☎ 03-3577-1821

【住所】練馬区貫井1-36-16  
(西武池袋線「中村橋」駅  
下車、徒歩3分)

【開館時間】10:00~18:00  
(入館は17:30まで)

【休館日】月曜(祝休日の場合は翌  
平日)、年末年始、展示替え  
などによる準備期間中

【料金】展覧会により異なる

公益財団法人 練馬区文化振興協会 友の会 会員募集中!

年会費:2,500円  
期間:入会月から1年間

さまざまなジャンルの施設がお得に楽しめる特典がいっぱい!  
~ 練馬文化センター、大泉学園ゆめりあホール、石神井公園ふるさと文化館、練馬区立美術館 ~

申込方法など詳しくは  
協会HPをご覧ください。  
<https://www.neribun.or.jp/>

特典1



各施設の情報を  
毎月ご自宅に郵送

特典2



公演チケットが1割引(一部公演を除く)

練馬文化センター  
大泉学園  
ゆめりあホール

特典3



一般発売前に公演チケットを  
優先予約(一部公演を除く)

練馬文化センター

特典4



展覧会にご招待(同伴者1名まで可)

石神井公園  
ふるさと文化館  
練馬区立  
美術館

特典5



会員限定イベントのご案内

石神井公園  
ふるさと文化館  
練馬区立  
美術館

ねりかる vol.7 平成29年 秋号 発行日/平成29年9月23日

発行:公益財団法人 練馬区文化振興協会  
東京都練馬区練馬1-17-37 ☎ 03-3993-3311 FAX 03-3991-9666  
<https://www.neribun.or.jp>

